僕が2学期にがんばったことは、野外活動、飯森祭、部活動の三つです。

一つ目の野外活動では、スローガンや行動目標を意識し、自分がすべき役割を達成できました。スローガンは、「行動にはメリハリを、心には優しさを、目指せ！日本一！黄色学年」です。一つのプログラムが終わったら、すぐに次のプログラムに行動するメリハリ。困っている人や大変そうな人に声かけをする優しさを学年全体がもてたと思います。行動目標も、時間を守り、常に団体行動を心がけ、積極的に行動できたと思います。

また、僕はキャンプファイヤー実行委員長でした。プログラムの時間配分や火文字を考えたり、会の最後に話をする担当をしたりしました。メンバー全員で声をかけ合い、協力できたので、当日は大成功しました。とてもうれしかったです。キャンプファイヤー実行委員に限ったことではなく、全ての実行委員はもちろん、学年全体が協力し合えたからこそ、すばらしい野外活動になったと思います。この野外活動で黄色学年が日本一に、また一歩近づけたと思います。

二つ目の飯森祭は、体育祭で青組の先輩達やクラスメートと協力し、優勝できたことが心に残っています。

青組は、応援練習や入場・退場の練習が厳しく、正直とても大変でした。でも、団員の先輩方が前向きな言葉をかけてくれて、苦しい時もがんばれました。体育祭が始まり、他学年の競技の時でも、先輩方は大きな声で応援してチームを引っ張っていました。その姿は本当にかっこよかったです。また、優勝が決まった後のスピーチで、団長さんが、「大縄の時に、これからもチーム全員で肩を組んで歌って応援してほしい。」と言っていたのはとても印象に残っています。ぜひ来年からも続けていきたいです。僕は来年2年生になります。3年生のサポートをしながら、先輩方のように常に前を向いて、後輩を引っ張っていく存在になりたいです。

三つ目の部活動は、練習を工夫し、成長できたことです。僕は卓球部に所属しています。うまくなりたくて、自分なりにがんばっていたのですが、1学期の終わりごろや夏休みはなかなか成長を感じず、悩んでいました。そこで反省をして、2学期からは、「難しい技より基礎を身につけること」を目標として、がんばっていかうと思いました。僕は、目標を達成させるために二つのことを実践しました。一つは、基礎練習の時、一球一球を正確に打ち返すという意識を高くもつことです。これによって、打つ球の正確性と試合での集中力が上がりました。もう一つは、フォームを良くすることです。これによって、ラリーが長く続くようになりました。

二つのことを実践した2学期は、自分でも納得のいく良い結果が出て、とても成長を感じました。また、他中の強い1年生に勝つことができ、1学期には全く感じなかった手ごたえを感じるようになりました。努力した成果が出て、とてもうれしかったです。3学期は、サーブと苦手なドライブを強くすることをがんばっていきたいです。

僕は、この2学期で、たくさんの経験を通して、とても成長できたと思います。3学期は、1年生の総まとめ、2年生になる準備期間なので、少しでも成長できるように一歩ずつ、そして全力で前進していきたいです。